

令和 8 年度 さいたま市立馬宮中学校 技術・家庭科 技術分野 シラバス

<p><b>技術・家庭科の目標</b></p>	<p><b>評価の観点等</b></p> <p>評価の観点</p> <p>①知識・技能</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p>
<p>技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指す。</p>	
<p><b>学習の特色</b></p>	<p>①知識・技能</p> <p>○各分野で身につけるべきとされている知識や技能について、十分に習得できているかを評価します。</p> <p>☆評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物(プリント・ワークシート等)</li> <li>・定期テスト</li> <li>・レポート</li> <li>・作品(実習課題)、等</li> </ul> <p>②思考・判断・表現</p> <p>○課題や問題に向き合って自らの考えや思いを表現できているか、課題を解決できているか等を評価します。</p> <p>☆評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物(プリント・ワークシート等)</li> <li>・定期テスト</li> <li>・レポート</li> <li>・作品(実習課題)、等</li> </ul> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>○授業(学習や実習)に取り組む態度、授業への参加状況・姿勢、課題等の提出状況等を評価します。</p> <p>☆評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の様子(姿勢・取り組み状況)</li> <li>・提出物の提出状況・内容</li> <li>・作品(実習課題)、等</li> </ul> <p style="text-align: center;">評価規準:○ 評価方法:☆</p>
<p>技術分野の学習は、知識や技術のしくみ・原理を理解するだけではなく、習得した知識や技能を日常生活で発揮できるように取り組んでいきます。</p> <p>また、さまざまな生活の課題に取り組むという実践力を身につけられるようにしていきます。そのために、常に問題意識を持ちながら、自分自身の生活を見つめ直し、習得した知識や技術を生活の中で発揮できるように、「生活の中での実践」を心がけるようにしてもらいます。また、より充実した学習・生活ができるように実生活の中で習得した知識・技能を上手に使っていくことを奨励します。</p> <p>A「材料と加工の技術」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料について(知識)</li> <li>・木材加工の仕方(技能)</li> </ul> <p>B「生物育成の技術」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物を育成するために必要な環境について(知識)</li> <li>・植物の育成(技能)</li> </ul> <p>C「エネルギー変換の技術」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギーと変換について(知識)</li> <li>・圧着とはんだ付け(技能)</li> </ul> <p>D「情報の技術」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報について(知識)</li> <li>・プログラミング(技能)</li> </ul>	